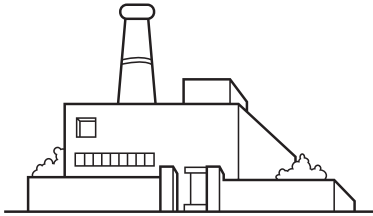


クリーンセンター建設に向けて



～クリーンセンター建設には、みなさんのご理解とご協力が必要です～

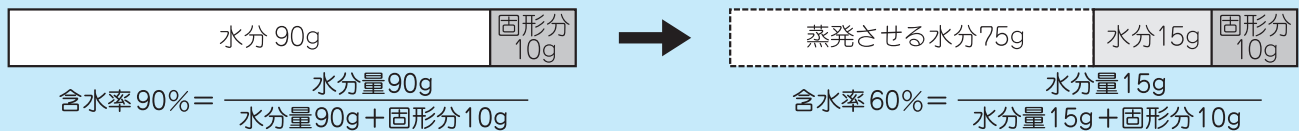
前回では、クリーンセンターの必要性とクリーンセンターでの処理方法などを紹介しました。今回は、生ごみの減量方法と地球温暖化との関係について紹介します。

生ごみの減量施策にご協力を

家庭からの生ごみの減量については、みなさん一人ひとりの協力が必要です。生ごみを減らすためには、排出を抑制することが大切です。いうまでもなく食材を使い切り、食べ残しを出さないこと、むだな買い物をしないことが大切です。また、賞味期限、消費期限を守り、食品の無駄を無くすことも大切です。それでもなお出てくる生ごみについて、自家処理するための装置として、生ごみ処理機があります。市では、購入にあたり補助金も交付していますのでご利用ください。

焼却炉の中では・・・

生ごみなどが、燃料の助けを借りずに自力で燃える水分条件の上限値は60%です。例えば、人参の含水率(水分の占める割合)を約90%とします。次の図のように、水分を75g蒸発させることで、含水率が60%になります。つまり、75gの水を蒸発させるエネルギーが必要となり、約45,000カロリー(75g×600カロリー)のエネルギーを消費することとなります。含水率の高い生ごみを焼却するには、大量のエネルギーが必要となり、大きな経費も必要となります。また、水分の多い生ごみの焼却には、大量のCO₂を排出することから、温暖化促進の要因となります。



生ごみの減量方法として

生ごみは、多くの水分を含んでいます。そこで、表面が乾いてしんなりする程度に水切りをおこなえば、大きな減量効果を得るだけでなく、地球温暖化防止対策ともなります。生ごみを、ゴミ箱に入れる前にキュッとしばって出すことを心がけ、ごみ減量と温暖化防止にご協力ください。

問合せ まち美化推進課 清掃センター推進室
☎75-1215 Fax72-3900
E-mail: clean-center@city.kizugawa.lg.jp